

保育園再編等に伴う定員変更の見込みについて

平成26年4月に「南魚沼市保育園施設整備計画」を策定し、保育環境整備の実施計画などを定めました。

保育園の新設や改築、統廃合など保育園再編等の状況と、今後の定員変更等の現状での見込みについてお知らせします。

1. 公立保育園の動向

(1) 藪神保育園

今年度、増築工事を実施し、来年度、国の定める保育室等の最低基準面積により求められる定員（以下、「施設定員」と言います。）を107人から123人程度に増やし、県に届け出る定員（以下、「利用定員」と言います。）を100人から110人に増やす予定です。

(2) 浦佐認定こども園

今年度、園舎内にある放課後児童クラブを他所に移転し、2歳児等の保育室を拡張して来年度、利用定員を200人から210人に増やす予定です。

(3) 八幡保育園

施設の老朽化などに伴い来年度、仮園舎を使用して旧園舎を解体し、改築する計画について、関係者との調整を進めています。

新園舎の利用定員は現状の105人を基本とし、施設定員は109人から120人程度に増やす予定です。

(4) 塩沢地区の公立保育園

塩沢保育園と中保育園を統廃合し、中保育園の敷地に新たな公立保育園を新設する計画について、関係者との調整を進めています。

新しい保育園は、平成29年度に工事を実施し平成30年4月の開園を目標とし、現状では利用定員135人、施設定員150人を想定しています。

(5) 大木六保育園

社会福祉法人どろんこ会の認定こども園を受け入れ、平成28年度末で閉園する計画について、関係者との調整を進めています。

2. 私立保育園等の動向

(1) わかば保育園

昨年度まで三分区で、3歳未満児専用の利用定員30人の保育園として運営していましたが、今年度、六分区に新園舎が完成し、5歳児まで受け入れる保育園となりました。

今年度の認可定員は50人ですが、三分区の分園も当面存続させる形で来年度から徐々に定員を増やし、平成30年度には105人となる予定です。

(2) 野の百合保育園

今年度、旧園舎の改築工事を実施しており、今年の6月から来年の2月まで美佐島の仮園舎において、利用定員100人で運営しています。

新園舎の完成に伴い来年度は、利用定員を110人に増やす予定です。

(3) たんぽぽ保育園（仮称）

今年の6月に設立された社会福祉法人長慶福祉会が、今年度、坂戸地内に利用定員60人の認可保育所を新設し、認可外保育施設たんぽぽハウスから移行する形で、来年4月に開園する予定です。

(4) 社会福祉法人どろんこ会の認定こども園

埼玉県などの首都圏で認可保育所を運営している（福）どろんこ会が、大木六保育園を民営化する形で、保育所型認定こども園の新設を計画しています。

来年度に新築工事を実施し、平成29年4月に利用定員75人で開園する計画について、関係者との調整を進めています。